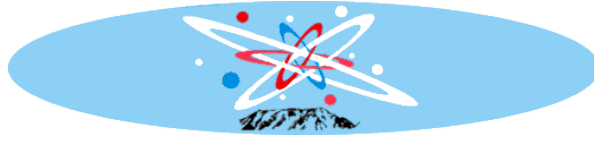


# 富山みらいロータリークラブ

WEEKLY REPORT



世界へのプレゼントになろう



国際ロータリー第 2610 地区

2016. 5. 24 発行

No. 41

創 立 1997. 6. 4

承 認 1997. 6. 18

2015-2016年度 RIテーマ “Be a gift to the world”

～ 世界へのプレゼントになろう ～

## 第892回 例会の記録

2016年 5月17日(火) 例会場 富山第一ホテル 13階 ルミエール

司 会 住澤 SAA

開 会 点 鐘 松波 茂夫 会長

ソ ン グ 「我等の生業」「未来のために」

ロータリーの目的唱和 岡崎 節子 職業奉仕副委員長

四つのテスト唱和 松波 茂夫 会長

ゲスト紹介 有限会社金沢設計 代表取締役 赤坂 攻 氏

誕生日祝い 伊勢会員(5月17日)

結婚記念日祝い 吉田泰彦会員(5月20日)

出 席 報 告

【総員数83名・5月17日(出席免除会員1名)】 ※( )内はメーキャップ人数

当 日 ( 5 月 1 7 日 )	57 ( 4 ) / 82	出席率 68. 67 %
前々回 ( 4 月 2 6 日 )	67 ( 13 ) / 83	出席率 80. 72 %

幹 事 報 告

宮本幹事より

- ・次年度会員名簿の作成時期となりました。記載事項、および写真に変更がある方は、6月7日(火)までに事務局へご連絡ください。なお、次年度より富山第二分区RC会員名簿となります。
- ・14日(土)に行われました富山第二分区親睦ゴルフ競技会ですが、当クラブから13名の方が参加され、団体は3位で、個人戦は品川会員が見事優勝されました。おめでとうございます。参加された皆様、お疲れ様でございました。

委 員 会 報 告

伊勢 青少年計画委員会より

- ・19日(木)に行われる「第4回IDM」と8月21日(日)～23日(火)に行われる富山大学五福キャンパスで行われる「ロボット教室体験会」について

ニコボックス紹介

- ・戦力外でした。翌日19番ホールで力つきました。 松波茂夫 さん
- ・お誕生日祝い、ありがとうございます 伊 勢 さん
- ・遅ればせながら、結婚記念のお祝い、ありがとうございました。 飛驒牛、おいしくいただきました。 藤 田 さん
- ・結婚記念をいただいて 吉田泰彦 さん
- ・遅刻おわび 堀 井 さん・吉田誠 さん

卓 話 者 紹 介

中井康博・親睦委員より

卓 話

有限会社金沢設計 代表取締役 赤坂 攻 氏による卓話

「日本の住まいに無くなりつつあるもの ～一国の美しさと文化は、風土に根ざす～」

閉 会 点 鐘

松波 茂夫 会長

## 本日 第893回 例会プログラム

2016年 5月24日(火) 於：富山第一ホテル13階ルミエール  
第4回IDM報告会(担当：社会奉仕部門)

## 5月・6月の行事予定

- 5月28日(土)～6月1日(水) 国際大会 於：韓国・ソウル  
31日(火) **クラブ指定休日のため、休会**
- 6月 7日(火) 夜間例会と創立19周年記念家族懇親会 於：3階天平の間  
14日(火) 稲垣会員による卓話 於：13階ルミエール  
例会終了後、理事役員会 於：5階藤の間  
21日(火) 日本銀行 富山事務所長 武田 英俊 氏による卓話 於：13階ルミエール  
28日(火) 下半期行事報告・退任挨拶および現新会長・幹事バッジ交換 於：13階ルミエール

## お知らせ

- 例会変更  
5月26日(木) 富山西RC 早朝例会【富山電気ビル】9:30～13:30
- ニコボックス累計金額 **276件 1,904,000円**
- ロータリー適用相場のお知らせ 1ドル **110円**

### 夜間例会と創立19周年記念家族懇親会

日時：平成28年6月7日(火) 18:30～ 例会 18:40～ 懇親会  
場所：富山第一ホテル3階天平の間  
アトラクション：日本民舞研究会「華の会」による民謡舞踏  
会費：会員 1万円 配偶者 3千円

\*出欠の締切りは、5月30日(月)です



### 富山第二分区RC(旧:富山7RC)名簿についてのお願い

次年度の会員名簿の作成時期となりました。  
記載事項に変更がある方、また写真を変更されたい方は、6月7日(火)までに事務局へご連絡願います。  
なお、写真を変更されたい方は、2枚提出願います。

**例会欠席のご連絡は、例会前日の午前中までに  
事務局あてにお願いいたします**

事務局電話番号：076-441-1737  
事務局携帯番号：090-5683-3660

◆ 有限会社金沢設計 代表取締役 赤坂 攻 氏による卓話 ◆



「日本の住まいに無くなりつつあるもの。

～ 一国の美しさと文化は、風土に根ざす。(和辻哲郎) ～」

これは哲学者の和辻哲郎の言葉ですが、日本の古民家の魅力を一言で語っているように思います。日本は良質の木材に恵まれその使用に適しており、日本人の神経の細やかさもあいまって長い歴史の中で和風の伝統が培われてきました。柱、梁は構造的な骨格であると同時にそれ自身が意匠美でもある真壁工法は、木材を良好に乾燥させて長持ちさせます。それが日本建築の特徴であり世界に誇れる木造技術にもなっています。

古民家の生活は行祭事や礼儀作法に密接に結びつき、一見無駄にみえる部分や陰翳のなかに神秘的で精神性豊かな日本の文化を醸し出してきました。

使いやすく丈夫で造りやすい古民家は、それぞれの地域の気候風土において自然と調和した美しさを磨いてきました。

長い時をかけ完成度を高めた地域性豊かな古民家は、まさに日本人が創造した「日本の住文化」の傑作であり、「地域の証明書」であると言えます。

更に、千数百年の昔より連綿と受け継がれて我が国の気候風土と融合調和して発達を遂げてきた古民家は、日本が世界に誇れる技術の一つであり、日本人の魂の拠り所にもなっています。だからこそ古民家は百年以上親しまれ、思い出や歴史を重ねて生き長らえてきたのでしょう。

日本の近代化は明治以来、西欧の近代技術や思想によって推し進められてきました。特に戦後アメリカ流の機能主義（効率化）によって日本の住宅はすっかり変わり、かつての暗さ、不便さは解消され明るく便利になりました。

同時に今の時代においては、効率的に意味がなく無駄と思われるものは捨て去られることが多くなってきました。

その反面、今日の住まいが商品化・消耗化して画一的な単なる「モノ」となってしまう、二、三十年でその役目に合わなくなると取り壊されています。

このことは新しいものに進歩発展を求め効率化することと、精神のよりどころとなる文化面との両立がなされていないからに思えます。

更に、今日の急激な経済・社会構造、生活様式の変化により、老朽化してさまざまな不具合が生じた古民家が数多く取り壊されています。

このような行き詰まりのなか、新しいものへの評価だけでなく、古くても本当に良いものを再評価し地域文化を見直す動きが強まっています。また環境問題への意識が高まりから持続可能な社会（再生リサイクル）を目指す時代となりつつあります。

このことから古民家再生が注目をされていますが、不十分な再生が多く見受けられるのが残念に思えます。次の百年に繋げる古民家再生は、構造補強をして暗い寒い不便さを改善し、歴史性や思い出の痕を過去から現在、そして未来へと繋げ、その固有の魅力を引き出すことにあります。新築では求めることの出来ない魅力です。

これからの日本の住まいを考える上で、「温故知新」の謙虚な思いで日本の文化と技術を再認識しながら、再生及び新築においても百年受け継がれる「現代の民家造り」を創造しなければならないと考えます。

例会日：火曜日  
12時30分

例会場：富山第一ホテル

事務局：〒930-0082 富山県富山市桜木町10-10 富山第一ホテル5F  
TEL (076) 441-1737 FAX (076) 441-2824  
事務局携帯電話 090-5683-3660  
E-mail [info@toyama-mirai.net](mailto:info@toyama-mirai.net) URL <http://www.toyama-mirai.net>